



新しい一年が健やかで笑顔の絶えない毎日でありますようお祈りします。

## TOPIX 認知症の人の食事について考える

認知症とは、「獲得された認知機能が、何らかの脳の障害により、持続的に低下し日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態」のことを言います。

認知症といえば、アルツハイマー型認知症が有名ですが、ほかにも認知症や認知症症状をきたす疾患・病態は数十種類以上あると言われております。認知症は疾患・病態により、様々な障害を呈すため、食事に関する問題も異なります。

代表的な認知症疾患であるアルツハイマー型認知症の食事に関する問題を考えてみます。アルツハイマー型認知症は、記憶障害を主とした症状をイメージしますが、実行機能障害(食事を準備して食べる)や失認(食べ物・食具が分からない)・失行(食具の使い方が分からない)など食事をするために必要な機能も徐々に失われていきます。認知症の進行状況に伴い失われる認知機能もあれば、残されている認知機能もあります。

その人の尊厳を保つために、我々食事を支援する側は、失われた認知機能に着目するのではなく、**残された認知機能**をどのように生かして、食事を支援していくか考えなければなりません。

認知症は重度になればなるほど、支援する側の食事に対する考え方、例えば、必要量を三食食べさせなければならないという考えであると食事が義務となり、認知症の人がおいしく食べることができなくなります。認知症の人に対する食事支援で大切なことは、「**その人にとって豊かな食事になっているか**」という視点で食事を考え、支援する側の価値観を優先せず、認知症の人が主体の視点で食事を支援できるように考えていくことです。

(認知症看護認定看護師 長谷川理絵)

NST委員会では、NST勉強会の誌面開催として講師先生のご執筆によりNST通信を発行しています。

< 今号のメニュー >

### \* TOPIX

認知症の人の食事について考える

### \* 栄養管理のベネフィット

教えて本田先生!

塩分はとっていいんだ!は間違い!?

### \* 気になる word

リフィーディング症候群



回復が遅れがちな患者さんの中には、栄養状態が悪すぎて悪循環に陥っている方がいるかもしれません。

私達は回復を促し「生き生きと自分らしく」暮らす生活の場へ一日も早く戻っていただくよう栄養療法の提案をとおしてお手伝いさせていただきます。

☆ 気軽にご相談下さい。

< お問い合わせ先 >

入院:NST 担当管理栄養士

or 病棟担当管理栄養士

外来:NST 外来外科齋藤先生

## 気になる word リフィーディング症候群



低栄養の患者さんに栄養療法を開始する際に大切な留意事項を紹介します。

### Refeeding症候群

長期間に渡り低栄養状態にあった生体に対して急速な栄養投与を行った際に認められる複合的な代謝異常であり重篤な病態。

< 発症機序 >

急速なグルコース投与に伴うグルコースとリン、カリウム、マグネシウム、水分等の細胞内への移動による。

特に、低リン血症には注意を要する。ヘモグロビンの酸素運搬能の低下からクエン酸(TCA)回路の機能不全をきたし、心不全、心停止を引き起こし、死に至る可能性もある。

裏面へ